

今回は…【洛中洛外図と中世の京の祭】に関する図書をご紹介します。

京都全体の風俗や名所を描いた洛中洛外図は、室町時代後期から作成されるようになりました。京都市平安京創生館（京都アスニー1階）では、現存する最初期の洛中洛外図である上杉本洛中洛外図屏風（国宝）の陶板複製が展示されています。上杉本には祇園祭・御霊祭の賑わいも描かれており、中世の祭の様子を覗い知れます。

◆『図説上杉本洛中洛外図屏風を見る』

（小沢 弘／著、川嶋 将生／著 河出書房新社）請求記号 書庫1 L/721.4/才

上杉本に描かれた寺社をはじめとした名所や、市井の暮らしぶりを原寸に近いカラー図版で紹介し、丁寧な解説を付しています。上杉本の図録は他にも、人々の表情が読み取れるほど精細な拡大図版を掲載する『NHK8K 国宝へようこそ 洛中洛外図屏風』（NHK「国宝へようこそ」制作班／編著 NHK 出版）や、他の洛中洛外図や祭礼図も併録した『洛中洛外図 都の形象—洛中洛外の世界』（京都国立博物館／編 淡交社 持禁）などがあります。



◆『絵画史料が語る祇園祭 戦国期祇園祭礼の様相』

（河内 将芳／著 淡交社）請求記号 L/386.1/カ

洛中洛外図をはじめとした絵画史料と、貴族の日記や寺社の文書史料を突き合わせることで中世の祇園祭の様相を探ろうと試みた本です。滑稽な姿で神輿渡御に加わった乗牛風流や巡行の順番など、現在の祭との違いを楽しむことができます。同趣旨の研究書として『都市祭礼と中世京都 表象と実像』（河内 将芳／著 法蔵館）も所蔵しています。



◆『中近世京都の祭礼と空間構造 御霊祭・今宮祭・六斎念仏』

（本多 健一／著 吉川弘文館）請求記号 書庫1 L/386.1/ホ

これまでに研究が進んでいなかった、祇園祭以外の京都（近郊）の祭の歴史についての本です。洛中洛外図など絵画史料も含め、さまざまな史料から3つの祭の中世・近世の姿と地域とのつながりを探ります。



◆『狩野永徳 特別展覧会』（狩野永徳／〔画〕，京都国立博物館／編 毎日新聞社）請求記号 書庫1 2L/721.4/カ

上杉本洛中洛外図屏風の作者とされる狩野永徳の展覧会図録。洛中洛外図はもちろんのこと、西山・宇治を描いた洛外名所遊楽図屏風や有名な唐獅子図屏風など、織田信長・豊臣秀吉に重用された画家の全貌を知ることができます。



この他にも、関連する図書を所蔵しています。
京都コーナーには【平安京関連図書コーナー】もあります。
貸出・閲覧や、調べもののお手伝いをご希望の方は、
中央図書館2階・参考図書室へお越しください。

